

埼玉慶友会

第2回勉強会

どなたでも（未会員の方でも）ご参加いただけます

講演テーマ

人間の価値－ナチス・ドイツによる強制断種と「安楽死」

近年日本では、ナチス期のドイツにおいて行われた精神疾患の患者や障害者を対象とした強制断種や大量殺害 - いわゆる「安楽死」(Euthanasie) - に対して大きな関心もたれている。とくに日本では、ナチスの優生思想の下で劣等とされた障害者が犠牲になったことが強調されている。そのためなのか、日本では、ナチスによる強制断種や「安楽死」の名の下での大量虐殺は、障害者の問題であり、ナチスの蛮行に加担した野蛮な考えの医学者の問題と矮小化されて理解されている。

しかし、本当にそうなのか。そのような理解でいいのか。それは私たちから切り離された問題なのか。

そうした問題意識を背景に、近年飛躍的に進んだ歴史研究の成果をもとに、このテーマについて議論し、このテーマが、いまの日本の私たちにどのような問題を投げかけているのか、参加者とともに考えてみたい。

■講師

うめはら ひではる
梅原 秀元 先生

【講師プロフィール】

1994年 慶應義塾大学経済学部卒業

1996年 慶應義塾大学大学院経済学研究科
修士課程修了

2002年 慶應義塾大学大学院経済学研究科
博士課程単位取得退学

2002-2013年末※ デュッセルドルフ大学哲学部
歴史学科博士課程在籍

※この間一貫してデュッセルドルフ大学医学部
医学史学科にて研究活動を行う。

2010年11月 デュッセルドルフ大学哲学部歴史学科
で博士号取得 (Dr. phil)

2014年～現在

・帰国後、慶應義塾大学通信課程夏期

スクーリング非常勤講師（社会科学特論）

他、兼任講師

2020年より

・立教大学文学部史学科特任准教授（現職）

➤専門は、19・20世紀のドイツ史で、主なテーマは
医学・公共衛生史、科学と社会との関係の歴史など。

2021年1月30日（土）

■コロナ情勢を鑑み、オンラインでの開催とします。参加者には、別途開催方法の詳細をご案内させていただきます。※ZOOMにて開催します

■スケジュール（予定）

13:20分からオンラインミーティング入室可

13:30～15:00 挨拶/講義①（90分）

15:00～15:15 休憩（15分）

15:15～16:30 講義②（75分）

16:30～17:00 質疑応答（30分）

17:00 終了

17:00～18:00 有志にてオンライン懇談会
（先生も参加されます）

■主な論文

・「第一次世界大戦における医学と兵士の体－ドイツを事例に－」『軍事史学』第53巻第4号 ほか。

■勉強会の申込方法について、会員の方は所定の方法により、会員以外の方は埼玉慶友会HPをご覧ください。

■埼玉慶友会への加入は、埼玉慶友会HPへアクセス

埼玉慶友会

検索

主催／埼玉慶友会